

【埼玉県】ウォータースタンド株式会社 ~2030年までに使い捨てプラボトル30億本削減に取り組む~

企業概要

- 浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」レンタル、空気清浄機レンタル
- 自治体や企業と連携しマイボトルに給水を呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進
- 2018年7月、SDGsへの貢献を決意しコア事業を「ウォータースタンド事業」に転換。
- 2030年までに30億本の使い捨てプラボトル削減を目指すミッションとビジョンを策定。

URL : <https://waterstand.co.jp/>

企業情報

企業名	ウォータースタンド株式会社		
代表者	代表取締役社長 本多 均		
設立年	1969年	従業員	624名
資本金	5000万円		
業種	物品賃貸業		
本社所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463		
事業概要	水道直結ウォーターサーバー、空気清浄機レンタルなど		
電話番号	048-657-6731		



ウォータースタンド(株)
代表取締役社長 本多均

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】

- 2018年7月、誰もがアクセスできる水道インフラを活用する浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」のプラスチックボトルを不要とする環境面での優位性に気づき、コア事業を同商品のレンタル事業に転換。
- 2019年から地方自治体と使い捨てプラスチック削減に向けた連携協定を締結し、マイボトルに給水を呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進。

【具体的な取組、製品・サービス】

- 使い捨てプラボトルをマイボトル（水筒）で代替することを呼び掛け、2022年6月度は8万1000本の水筒を配布。
- 2019年より、環境・社会データを盛り込んだウォータースタンドレポートを発行し、2023年からはISO14001自己適合宣言へ移行。
- 61の地方自治体※との連携協定の下、誰もが給水できるウォータースタンド（給水スタンド）を1669台設置（2022年6月度）。
（※ 2023年1月末現在。最新情報はこちら→<https://waterstand.co.jp/bottlefreeproject/category/municipality/>）。
- 営業車両ではなく自転車を使用するエコサイクル手当を2020年2月に導入。
- 地域に密着し、全国に62※の拠点を展開（※2023年1月末現在）。地域のSDGsプラットフォームなどにも参画しマイボトル活動を推進。

【取り組んだ成果・効果】

- ウォータースタンド設置台数から使い捨てプラボトル削減本数・CO2排出抑制量を推計。
使い捨てプラボトル削減本数は8846万本、CO2排出抑制量は9297t-CO2（2022年6月度）。
- ステークホルダーとのパートナーシップが拡大し、教育機関においてSDGsに関する出張授業、地方自治体が開催するSDGsに関するミーティングなどでの登壇が実現。
（出前授業→<https://waterstand.co.jp/bottlefreeproject/category/education/>）
（弊社の取り組み→<https://waterstand.co.jp/bottlefreeproject/category/activities/>）

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- SDGsは当社にとって未来の世代からの宿題です。「ごみを減らす」といった消費のプロセスの一部分を改善することではなく、マイボトルに給水することで、生産、運搬、消費、回収、リサイクルというリニア型経済のプロセス全体を見直して参りたいと考えています。循環型経済に移行するために事業を通じてより良い行動をとることへの呼びかけを広げて参ります。



マイボトルに給水しやすい
ウォータースタンド



ウォータースタンドの
ミッションとビジョン



無料給水アプリmy mizu代表マク
ティア・マリコ様との対談
→<https://www.youtube.com/watch?v=Fc9YTeE-IWo>